

2月4日は節分でした。

昨2月4日は節分でした。ご家庭でも、「豆まき」をされたでしょうか。本校では、幼稚部が先週、「豆まき」を行いました。鬼役の担任の先生が、所狭しと走って逃げるのを子どもたちが豆を投げながら、「鬼は外、福は内！」とかけ声おかけながら、追いかけていました。子どもたちの元気な笑顔と明るい声に、ほのぼのとした気分にもしてもらえました。きっと、子どもたちが豆まきをしてくれたお陰で、これからも本校にもたくさんの福がやってくると思います。もしかして、一番喜んでいたのは、周囲にいた鳥たちだったかもしれません。たくさんの豆を食べることができたことでしょう。(笑)



ピグマリオン効果について



日本語学習に関して保護者の方とお話をしていると、子どもたちの頑張りをご家庭での支援の大変さを感じます。それと同時に、英語圏で日本語を学習することの難しさも痛感します。この環境の中、お子様の努力はもちろんですが、あわせてご家庭のご支援が不可欠だと感じます。幸い、本校では、各家庭で最大限のご支援をいただいていることに感謝しています。しかし、子どもの学習成果は、思うようにはなりません。時に停滞したり、場合によっては後退することもあります。そんな時に、思い出して欲しいのは、ピグマリオン効果です。ピグマリオン効果とは、教育心理学における心理的行動の一つです。「人間は、期待された通りの成果を出す傾向がある。」と言われていています。期待をかけられた生徒の成績は伸び、期待されなかった生徒の成績は落ちたということです。親として、このピグマリオン効果は大切です。「我が子は絶対に出来るようになる」と信じて、支援することが重要です。もちろん信じるだけで、支援しないのはダメです。子どもの無限の可能性を信じて、これからも一緒に頑張っていきましょう。

卒業式が近づくと・・・

卒業式に向けての取り組みを始める季節になりました。毎年、この時期は、忙しい中で、子どもたちが巣立っていく寂しさと立派に成長してくれたという少し誇らしげな気持ちが混ざって複雑な気分になります。同時に、子どもたちに「何をしてあげられたんだろうか?」「子どもたちの未来に良い影響はあたえられたらだろうか?」「子どもたちは本校で楽しく学ぶことが出来たらだろうか?」と反省の気持ちも湧き上がります。今の私に言えることは、残された子どもたちの時間を大切に一生懸命頑張ることです。ゴールも見えてきています。これからも本校に対して、ご家庭のご協力とご支援をお願いいたします。



今週、文集が配付されます。



今週、学校文集の配付を予定しています。子どもたちが一生懸命に作り上げた大事な宝物です。ご家庭でも家族でご覧いただき、子どもたちを褒めてあげてください。子どもたちの確かな成長の証が、そこにはあると思います。大切にして貰える有難いです。